

平成26年12月15日

各 位

会 社 名 株式会社テンポスバスターズ  
 (コード番号2751 JASDAQ)  
 代表者名 代表取締役社長 平野 忍  
 問合せ先 管理部長 中村 純一郎  
 T E L 03-3736-0319 (代表)

(訂正・数値データ訂正) 「平成27年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成26年12月10日に提出いたしました「平成27年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」(自平成26年5月1日 至 平成26年10月31日)について訂正がありましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯

平成26年12月10日に発表した標記開示資料について下記のとおり訂正がありましたのでお知らせします。

2. 訂正の内容

訂正箇所には下線を引いております。

(訂正前)

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年5月1日 至 平成26年10月31日)
売上高	9,133	11,020
売上原価	5,579	6,585
売上総利益	3,553	4,435
販売費及び一般管理費	※1 2,849	※1 3,552
営業利益	704	883
営業外収益		
受取利息	4	2
貸倒引当金戻入額	9	0
持分法による投資利益	28	9
その他	17	12
営業外収益合計	60	24
営業外費用		
支払利息	0	0
自己株式手数料	-	9
その他	0	4
営業外費用合計	0	15

(訂正後)

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年5月1日 至 平成26年10月31日)
売上高	9,133	11,020
売上原価	5,579	6,585
売上総利益	3,553	4,435
販売費及び一般管理費	※1 2,849	※1 3,552
営業利益	704	883
営業外収益		
受取利息	4	2
貸倒引当金戻入額	9	0
持分法による投資利益	28	9
その他	17	12
営業外収益合計	60	24
営業外費用		
支払利息	0	0
貸倒引当金繰入額	-	9
その他	0	4
営業外費用合計	0	15

(訂正前)

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期 間 (自 平成26年5月1日 至 平成26年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	762	918
減価償却費	41	51
のれん償却額	17	31
負ののれん発生益	-	△44
持分法による投資損益 (△は益)	△28	9
持分変動損失	-	20
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	43
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	△11
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	5	14
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	-	△11
受取利息及び受取配当金	△4	△2
固定資産除売却損益 (△は益)	0	-
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	△1
貸倒損失	0	-
支払利息	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	11	△19
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△199	△85
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	11	60
仕入債務の増減額 (△は減少)	23	△175
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3	71
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△24	△56
小計	619	813
利息及び配当金の受取額	3	1
有価証券利息の受取額	0	△0
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△118	△380
営業活動によるキャッシュ・フロー	504	433
投資活動によるキャッシュ・フロー		

短期貸付金の回収による収入	9	103
長期貸付金の回収による収入	9	47
長期貸付けによる支出	-	△8
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得等による支出	△80	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得等による収入	-	※2 192
有形固定資産の取得による支出	△49	△98
投資有価証券の取得による支出	△4	-
無形固定資産の取得による支出	△5	△5
敷金及び保証金の差入による支出	△23	△20
敷金及び保証金の回収による収入	7	6
その他	5	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△131	218
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△9	-
長期借入金の返済による支出	△4	-
自己株式の売却による収入	-	10
配当金の支払額	△43	△60
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
リース債務の返済による支出	-	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57	△52
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	305	76
連結子会社と非連結子会社との合併による現金及び現金同等物の増加額	7	-
現金及び現金同等物の期首残高	1,831	2,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,153	※1 2,978

(訂正後)

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期連結累計期 間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	762	918
減価償却費	41	51
のれん償却額	17	31
負ののれん発生益	-	△44
持分法による投資損益 (△は益)	△28	9
持分変動損失	-	20
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	43
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	△11
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	5	14
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	-	△11
受取利息及び受取配当金	△4	△2
固定資産除売却損益 (△は益)	0	-
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	△1
貸倒損失	0	-
支払利息	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	11	△19
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△199	△85
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	11	60
仕入債務の増減額 (△は減少)	23	△175
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3	71
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△24	△56
小計	619	813
利息及び配当金の受取額	3	1
有価証券利息の受取額	0	△0
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△118	△380
営業活動によるキャッシュ・フロー	504	433
投資活動によるキャッシュ・フロー		

短期貸付金の回収による収入	9	103
長期貸付金の回収による収入	9	47
長期貸付けによる支出	-	△8
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得等による支出	△80	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得等による収入	-	※2 192
有形固定資産の取得による支出	△49	△98
投資有価証券の取得による支出	△4	-
無形固定資産の取得による支出	△5	△5
敷金及び保証金の差入による支出	△23	△20
敷金及び保証金の回収による収入	7	6
その他	5	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△131	218
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△9	-
長期借入金の返済による支出	△4	-
自己株式の売却による収入	-	10
配当金の支払額	△43	△60
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
リース債務の返済による支出	-	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57	△52
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	316	599
連結子会社と非連結子会社との合併による現金及び現金同等物の増加額	7	-
現金及び現金同等物の期首残高	1,831	2,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,153	※1 2,978

(訂正前)

**(重要な後発事象)**

①当社連結子会社の株式会社あさくまサクセッションは、平成26年10月15日に、有限会社エイドアルファの飲食事業（パルティオーレ）の譲受けに関する契約を締結し、同日付けで事業を譲受けております。

1. 事業譲受けの目的

当社子会社は、M&Aによる新業態開発を成長戦略の大きな要であると位置づけており、店舗数の拡大及び北関東圏（群馬県）における業容の拡大が期待できるため。

2. 譲受ける相手企業の名称

有限会社エイドアルファ

3. 譲受ける事業の内容

飲食事業（イタリア料理5店舗）

4. 譲受けの時期

平成26年10月15日

5. 譲受け対価

50,529千円

6. 発生するのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

7. 事業の譲受けにより増加した資産の主な内訳

固定資産 83,105千円

②同社は、平成26年10月27日に、株式会社日本レストランビジネスの飲食事業の譲受けに関する契約を締結し、平成26年11月30日付けで事業を譲受けております。

1. 事業譲受けの目的

当社子会社は、M&Aによる新業態開発を成長戦略の大きな要であると位置づけており、店舗数の拡大及び関東圏（東京都、神奈川県）における業容の拡大が期待できるため。

2. 譲受ける相手企業の名称

株式会社日本レストランビジネス

3. 譲受ける事業の内容

飲食事業（カフェ4店舗、食堂2店舗）

4. 譲受けの時期（予定）

平成26年11月30日

5. 譲受け対価

250,000千円

6. 発生するのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

7. 事業の譲受けにより増加した資産及び負債の主な内訳

流動資産 462千円

固定資産 535,252千円

流動負債 10,796千円

固定負債 38,308千円

(訂正後)

**(重要な後発事象)**

①当社連結子会社の株式会社あさくまサクセッションは、平成26年10月15日に、有限会社エイドアルファの飲食事業（パルティール）の譲受けに関する契約を締結し、同日付けで事業を譲受けております。

1. 事業譲受けの目的

当社子会社は、M&Aによる新業態開発を成長戦略の大きな要であると位置づけており、店舗数の拡大及び北関東圏（群馬県）における業容の拡大が期待できるため。

2. 譲受ける相手企業の名称

有限会社エイドアルファ

3. 譲受ける事業の内容

飲食事業（イタリア料理5店舗）

4. 譲受けの時期

平成26年10月15日

5. 譲受け対価

50百万円

6. 発生するのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

現時点では確定していません。

7. 事業の譲受けにより増加した資産の主な内訳

固定資産 50百万円

②同社は、平成26年10月27日に、株式会社日本レストランビジネスの飲食事業の譲受けに関する契約を締結し、平成26年11月30日付けで事業を譲受けております。

1. 事業譲受けの目的

当社子会社は、M&Aによる新業態開発を成長戦略の大きな要であると位置づけており、店舗数の拡大及び関東圏（東京都、神奈川県）における業容の拡大が期待できるため。

2. 譲受ける相手企業の名称

株式会社日本レストランビジネス

3. 譲受ける事業の内容

飲食事業（カフェ4店舗、食堂2店舗）

4. 譲受けの時期（予定）

平成26年11月30日

5. 譲受け対価

250百万円

6. 発生するのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

現時点では確定していません。

7. 事業の譲受けにより増加した資産及び負債の主な内訳

(削除)

固定資産 298百万円

流動負債 10百万円

固定負債 38百万円

以上